

検察、ロッテグループ-MB 政府」の癒着輪」捜査本格化

KoreaDaily[ジョインス] 記事入力 2016/07/12 13:29



[アンカー]

検察がジャンギョンジャクホテルロッテ社長と基準前ロッテ物産社長ら 2 人を出国禁止しました。李明博前大統領と高麗大学 61 学番同期であるジャンギョンジャク前社長は、ロッテグループ内の代表的な「MB ライン」として知られています。第 2 ロッセワールドの許認可総括責任を引き受けて、李明博政権発足 1 年ぶりに建築許可を導き出しました。このプロセスに章前社長の MB 政府人脈が動員されたのではないかという疑惑が続いて提起されてきました。ため章前社長の出国禁止は、ロッテグループと李明博政府の癒着の本格捜査という点で関心を集められています。検察取材記者が接続されています。深水米記者、ジャンギョンジャク前社長の出国禁止は、以前、他のロッテグループの役員捜査の時とは少し違う状況であることで見える、出国禁止した直接の理由は何ですか？

[記者]

はい、そうです。ジャンギョンジャク前社長の捜査は、色々な面で意味が大きいのですが。何度も伝えてたように、ロッテグループは、李明博政権当時、様々な買収を通じて規模を育ててきました。



この時、この章前社長の役割が非常に大きかったが、検察はその背景についての調査が必要であると判断が線と伝わります。

[アンカー]

章前社長の場合に第 2 ロッテワールド許認可に関連しているということが出てくる、どのように接続がされているという話です。

[記者]

代表的な MB ラインに選ばれるジャンギョンジャク前社長が、ロッテグループに入ってきて、様々な買収、特に宿願事業である第 2 ロッテワールドの許認可も総括したため、ロビー疑惑を解く重要な人物で、検察は見ているでしょう。第一章社長は、李明博前大統領がソウル市長だった 2005 年 2 月 4 日にホテルロッテ社長に迎え入れました。この時、公式発表が出すぎ三日前に、李明博当時ソウル市長は、あるマスコミとのインタビューをしたんです。「準備された土地があり、自己資本があるというのに、第 2 ロッテワールドを否定的に見る必要がない」このように明らかにした。ソウル市は、当時の建築許可権を握った複数主体の一つだったので、このような発言は、ロッテ側としては非常に嬉しいことだったでしょう。

[アンカー]

とにかく捜査がそう進行になるから、李明博前大統領も昨日そんな話をしていた模様です

ね。「私もなかったが、今回の政府は、よりない」ので、その前の政府の捜査が拡大されていることに対する不満の表示ダラはそのような分析も出たりした。基準元ロッテ物産社長も出国禁止になりました。期前社長も第 2 ロッテワールド許認可過程に介入したと見ての
ですか。

[記者]

フィット。ロッテグループが第 2 ロッテワールド建設を十数年間成功させなかった背景には、近くの城南のソウル飛行場への脅威が言いながら空軍と国防部で激しく反発したためですが、李明博政府 1 年ぶりの 2009 年の初めに許認可を取得します。背景に基準前社長が苗の役割ではなかったかという疑惑が出てきているのです。2009 年当時イギェフン空軍参謀総長、そしてやはり「ロビーの窓口」とも指摘されている航空機部品の輸入業者 B 社のチョンモ副両方機前社長と同じ高校の卒業生です。このような人脈がどのような役割をしたと見られるでしょう。

[アンカー]

ロッテグループの捜査が一ヶ月以上続いています。最初からこの捜査の核心は、第 2 ロッテワールドの好み疑惑であるように報道していただいたことがあって、実際には多くの方々が覚えていきますし。第 2 ロッテワールドの許可が、その時点でとして誰が見ても無理にした際あれいつかは問題になるだろうと多くの人が考えていた今は捜査が本軌道に上がった見ることができますか？

[記者]

従来と異なる新たな局面に入った表現ができそうです。検察の捜査は、これまでシン・ドンビン会長の秘密資金造成疑惑を集中的に究明するために力を注いできました。新会長を圧迫するカードを手にしたの後ろにこれを活用して、第 2 ロッテワールド許認可ロビー疑惑とそれに関連文を引き出すという計画だったんです。検察は、まだ表面的には「まだ第 2 ロッテワールド捜査する直接の手がかりが見つからなかった」と一線を画しています。しかし、第一章社長などの主要人物たちが逃走するおそれがあるだけに、内部的には、関連する物証確保に注力しています。

[アンカー]

より見守らなければならぬという話で理解をいたします。深水米記者でした。ご苦労様。